

指定校番号	28100	学級活動	児童会・生徒会活動	○	学校行事	別紙様式
-------	-------	------	-----------	---	------	------

平成 28 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	廿日市市立佐伯中学校	校長	石角 剛	生徒指導主事	友兼 正樹
-----	------------	----	------	--------	-------

取組事例名 いじめのない学校にするために『命の大切さについて考える日』

取組のねらい 『キーワード いじめの未然防止／自他の命』

- (1) 5月9日を「命の大切さについて考える日」とし、さらに、5月10日から5月17日を「命の大切さについて考える週間」として、生徒一人一人に自他の命の大切さについて深く考えさせる。
- (2) いじめは命に関わる重要な問題であり、決して許されないことであるとの認識をあらためて強くもたせることにより、生命の尊さを理解させ、かけがえのない自他の生命を尊重する態度を身に付けさせる。

取組の具体的内容 『キーワード 生徒会とタイアップした取組／保護者・地域等への働き掛け』

- 「命の大切さについて考える日」全校集会で、学校長が講話を行った。また、生徒会の主催で、生徒による呼び掛けを行った。
- 「命の大切さについて考える週間」に、全学級において「命の大切さ」を扱う道徳の授業（特別支援学級は生活単元学習）を行った。
- 「命の大切さについて考える日」に係る取組について、保護者懇談会（第2学年）を行った。
- 「命の大切さについて考える日」の全校集会や、「命の大切さについて考える週間」に実施した道徳等の生徒感想文を紹介して、保護者・地域等を対象とした働き掛け（学校だより、学級通信等の発行）を行った。
- 「命の大切さについて考える日」をその日一日に限定せず、「命の大切さについて考える週間」として、つながりをもたせた取組を行った。
- 「命の大切さについて考える週間」の振り返りとして、翌週の生徒朝会を報告朝会とし、執行委員会が、生徒の感想や記録を全校生徒に向けて発表した。

取組の課題・創意工夫 『キーワード 指導支援を必要とする生徒を含む全ての生徒への指導』

- ☆ 生徒会オリジナルストーリーの内容については、生徒会担当教諭、生徒会執行委員会で原案を作成した。
- ☆ 養護教諭、特別支援教育コーディネーターの助言のもと、配慮を必要とする生徒、指導支援を必要とする生徒にも伝わりやすくなるよう、スライドを完成させた。
- ☆ 全校集会の日だけに限定せず、「命の大切さについて考える日」の取組をつなぐために、全学年全学級で道徳の授業（特別支援学級は生活単元学習）を実施し、一週間を通して「お昼の放送」で歌や絵本の紹介をして、「命の大切さについて考える週間」の特集を行った。
また、図書委員会では「命の大切さ」に関する本の展示を、保健委員会では「生命」「いじめ」等に関する新聞のスクラップ展示を継続して行っている。
- ☆ 「命の大切さについて考える日」は、3年前の廿日市市で起きた自死に関わる問題であることから、市内全中学校実施されている取組である。
本校では、事前リハーサルには校長が立ち合い、全校集会の流れや内容を確認した。

取組の成果（効果） 『キーワード 自分事として捉える／取組の発信／他教科・他領域との関連』

- ◎ 生徒は、全校集会をスタートとして「いじめ」「命の大切さ」「生きる」について深く考え、自分の思いを自分のことばで書くことができた。
- ◎ 「命の大切さについて考える週間」の期間中には、全学年全学級において、「命・生命」に関わる道徳（特別支援学級は生活単元学習）の授業を実施し、生徒会の取組を教師サイドからも深めることができた。
- ◎ 週間中に行われた参観授業においては、第2学年の保護者懇談会で取組のねらいや生徒の様子を紹介した。生徒作文（感想文）を読んだ際には、うなずきながら聴く保護者の姿が見られた。
- ◎ 夏季休業中に開催された「廿日市市・生徒会サミット」で、取組を発表した。

今後の展開『キーワード 全国いじめ問題子供サミットへの参加/いじめの取組の継続』

- ◇ 平成29年1月21日に開催される「平成28年度全国いじめ問題子供サミット(文部科学省主催)」へ生徒代表が参加し、サミットのテーマである「学校いじめ防止基本方針に私たちの意見を取り入れよう」のもと、<①いじめを未然に防止するためには、どのような活動が有効か><②どのようなアンケートであれば答えやすいか><③先生や保護者が気付かない、いじめを受けているときのサインは、どのようにしたらよいか><④学校のこんないじめの対応は困る、だからこんな対応をしてほしい><⑤どのような方法ならば相談できるか>の5点について、同世代から学び、交流したことを学校に持ち帰って、全校生徒に向けて報告朝会をする。
- ◇ 3年前から続く「命の大切さについて考える日」を生徒会主体の全校アピールの日として、次年度以降も取組を継続させ、いじめの未然防止について生徒自身で考えるよう、場を設定していく。

他校へのアドバイス『キーワード 生徒間のつながり/意図的な指導や継続した取組/連携・調整』

- ・ 学校全体で進めるいじめの未然防止のためには、教職員側の指導だけでなく、生徒間のつながりについての意図的な指導や取組、いじめのない環境づくりが必要と考える。
- ・ 次年度以降も、生徒主体の全校アピールを組織的・継続的に進めていくためには、教員の異動や校内体制にも対応できるよう、連携や調整、さらに後進へのスムーズな引継ぎのための整備をしていく必要がある。

「いじめのない学校」にするために ～命の大切さについて考える日～



“命”ってなんだろう？ 大切な“命”をどう生きる？
あなたは“命”を大切にしていますか？

“命”は、感じるもので、目には見えないものなんだ。

人生は楽しいもの。けれども、苦しいことや悲しいことや、
心悩ますこともたくさんあります。
そんな時どうしていますか。黙って一人で耐えていますか。
でも、本当につらいときは、

『助けて、助けて』って言ってください。

そして、その小さな声にたくさんの人が気付いたら、
大切な“命”は守られて、生きていてよかったと思えます。

“命”とは「未来」のこと。「生きる」とは「つながる」こと。



◆取組の様子

<p>校長講話</p>	<p>生徒会アピール</p>	<p>第1学年道徳 「望まれて生まれ 願われて生きている」</p>	<p>第2学年道徳 「いじめをノックアウト」 (NHK)</p>
<p>第3学年道徳 「私が生まれてきた理由」 さだまさし</p>	<p>特別支援学級生活単元 「生きるってどんなこと」</p>	<p>第2学年 保護者懇談会</p>	<p>図書委員会「命を大切に するということ」</p>